

ペットの災害時の避難対策

災害はいつ発生するかわかりません。

災害発生時にペットを守れるのは飼い主の方だけです。

市が開設する避難所では様々な人が集まり共同生活をするため、動物が苦手な人や動物アレルギーの人に配慮する必要があることから、飼い主とペットの避難スペースを分けています。

ペットのストレスを避けるためにも、親戚や友人宅、ペットホテルなど一時預かり先も探しておきましょう。

避難所へのペットの同行避難について

受け入れ可能なペットについて

- ・受け入れ可能なペットは飼育ケージやかごに入っているペットです。
- ・避難中は原則、飼育ケージ内で過ごすことになります。

ペットの避難スペースについて

- ・原則、ペットの避難スペースは屋外になります。
- ・種別に応じて避難スペースを分けることはできません。

注意事項について

- ・ペットの飼育は飼い主が責任を持って行ってください。
- ・避難所には動物アレルギーの方や苦手な方など様々な方がいます。匂いや鳴き声、抜け毛など普段以上に周囲に配慮してください。
- ・避難所にはペット用の食料、備品等は備蓄しておりませんので、ペットに必要なものは下記を参考にご自身で準備してください。



ペット用の備蓄品と持ち出す際の優先順位の例

【優先順位 1】

- ☐ 療法食、薬
- ☐ ペットフード、水
(少なくとも 5 日分)
- ☐ ケージ ☐ 食器
- ☐ 予備の首輪・リード
(伸びないもの)
- ☐ トイレ用品
(ペットシートやトイレ砂など)
- ☐ 排泄物の処理用具

【優先順位 2】

- ☐ 緊急連絡先・預け先の
情報
- ☐ ペットの写真
- ☐ ワクチン接種状況などの
情報



【優先順位 3】

- ☐ タオル、ブラシ
- ☐ ウェットタオルや洗浄綿
- ☐ ビニール袋
- ☐ 匂いがついた用品
(お気に入りのおもちゃなど)
- ☐ 洗濯ネット (猫の保護用)
- ☐ ガムテープ、マジック
(ケージの補修や動物情報の
掲示など)

もしもに備えて日頃から準備しましょう

🐾 ワクチン接種やノミダニ駆除などペットの健康管理 🐾

災害発生時には感染症にかかる可能性も高まるため、日ごろからワクチン接種やノミダニ駆除などペットの健康管理を行いましょう。



🐾 しつけ・トレーニング 🐾

一緒に避難しやすいよう日頃からケージに慣らしておきましょう。
避難所でのトラブル防止のため、最低限のしつけもしておきましょう。

🐾 避難所や避難ルートの確認 🐾

災害に備えて、事前に親戚や友人、ペットホテルなど、複数の一時預かり先も探しておきましょう。

🐾 ペット用の避難用品や備蓄の準備 🐾

もしもに備えていつでもペットと一緒に避難できるよう準備しておきましょう。
(詳しくは表面をご参照ください)

🐾 所有者明示措置の徹底 🐾

災害時にはペットと離ればなれになってしまうこともあります。
首輪等に鑑札や狂犬病予防注射済票、迷子札を装着しましょう。
外れることのないマイクロチップも装着すればより安心です。



～マイクロチップについて～

「動物の愛護及び管理に関する法律」の改正により令和4年6月1日からペットショップやブリーダーが販売する犬と猫について、マイクロチップの装着が義務化されました。
なお、制度開始以前から飼われている犬や猫などへのマイクロチップの装着は努力義務となりますが、災害時など離ればなれになった時に、飼い主の元に戻る可能性が高まりますので、ぜひ装着をご検討ください。

災害に備え日ごろから準備しておきましょう。

避難所内では人もペットも安心して過ごせるようルールを守り、飼い主の方はペットの管理に責任を持ちましょう。

お問合せ先

ペットの適正飼養に関すること：防府市 環境政策課 (TEL 0835-25-2172)

避難所に関すること：防府市 防災危機管理課 (TEL 0835-25-2115)